

佐藤良太 (Ryota SATO)

専任講師

学位： 博士（文学）

略歴：

佛教大学大学院修士課程修了

佛教大学大学院博士課程単位取得満期退学

専門分野： 日本近代文学

研究課題： 近代日本における〈神〉

【著書】

- ・ 『京都近代文学辞典』（共著，日本近代文学会関西支部，和泉書院，2013. 5）
- ・ 『兵庫近代文学事典』（共著，日本近代文学会関西支部，和泉書院，2011. 10）

【論文】

- ・ 夏目漱石『夢十夜』—「第一夜」における〈自己〉（『愛知文教大学 教育研究』第7号, 2017. 3）
- ・ 夏目漱石『門』—〈理性〉の境界（『愛知文教大学論叢』第19号，2016. 11）
- ・ 夏目漱石『吾輩は猫である』—反転する〈近代〉の教育（『愛知文教大学 教育研究』第6号, 2016. 3）
- ・ 近現代文学を用いた〈国語科教育法〉の研究1—〈言語活動〉としてみた芥川龍之介『蜜柑』の分析（『愛知文教大学 教育研究』第5号, 2015. 3）
- ・ 『坊っちゃん』—〈近代〉へのマニフェスト（『愛知文教大学比較文化研究』第13巻，2014. 11）
- ・ 夏目漱石『こころ』—描かれた〈五倫〉と荀子〈性悪説〉（『愛知文教大学論叢』第17号，2014. 11）
- ・ 夏目漱石『行人』論—一郎の〈救い〉と〈神〉—（『キリスト教文藝』第29輯，2013. 7）
- ・ 夏目漱石における〈天〉—止揚される近代的自我—（『阪神近代文学研究』第12号，2011. 5）
- ・ 夏目漱石における〈罪〉—漱石的〈罪〉と天道思想—（『阪神近代文学研究』第11号，2010. 5）

【その他】

- ・ 「漱石生誕150年 夏目漱石〈国民的作家の相貌〉」（佛教大学四条センター講座2017年11月15日）
- ・ 「〈京都〉に学ぶということ—佛教大学25年—（学科講演 第8回佛教大学ホームカミングデー2017年11月5日）
- ・ シンポジウム「漱石文芸とキリスト教」—『門』をめぐって（日本キリスト教文学会関西支部 於：関西学院大学 2017. 1）
- ・ 「漱石作品〈その死後の生〉」（京都漱石の會 司会 於：御所西京都平安ホテル 2016年11月）
- ・ 「〈J・ブンガク〉の可能性—夏目漱石の人と文学」（出張講義於：愛知県立南陽高等学校 2016年11月）
- ・ 「〈私〉とは何か？—文学に描かれた〈自己〉—」（高大連携：伊那西高等学校 2016年10月12日・26日）
- ・ 「没後100年 夏目漱石と〈近代〉明治—日本人へのメッセージ」（岩倉市生涯学習講座 於：岩倉市生涯学習センター 2016. 5～7）
- ・ 『坊っちゃん』—〈近代〉へのメッセージ（愛知文教大学公開講座，於：愛知文教大学，2014. 9. 18）
- ・ 「漱石の使った日本語」「漱石・鴎外のラブレター」（小牧市民講座，於：愛知文教大学，2014. 7. 31）
- ・ 日本キリスト教文学会関西支部運営委員（2014年7月～至現在）

・ 阪神近代文学会『阪神近代文学』編集委員（2015 年 7 月～至現在）

【研究テーマ】

日本近代における形而上認識の生成と展開を、日本近代文学、殊に漱石文学に跡づけることを現今のテーマとしています。特に『門』や『行人』『こころ』といった漱石晩年の作品にみえる宗教観は、近代知識人の入り込む隘路を示しており、近代人に対する危惧と警鐘を鳴らしているといえます。東洋的倫理観と西洋的規範、内と外を知悉した漱石の出した回答は、近代のみならず、現代日本にあってもなお有効性を保ち続けているとあってよいでしょう。過去の文学から未来に資する文学へ。漱石文学の尽きない魅力を宗教・思想的側面より研究しています。